



【2013年 夏号 (第3号)】

「理事長コーナー」



お城紹介です。右の写真は、愛媛県大洲市(おおず)にある、大洲城です。天守は、2004年に再建されたものですが、木造新築で、全国名だたる名城も、創建時はこんな風なのかと思われて、外観の黒と白のコントラストと、石垣に桜が最高です。お城ファンに成った原点です。

理事長 針田勉

「バトンタッチコーナー」

題名 クルーズ  
(株)生駒工業所 高橋正己

「世界の7割は海です。さあ、あなたも世界の船旅へ出かけませんか？」BSTVの誘いでゴールデンウィークに「ボイジャー、オブ、ザ、シーズ」長崎、釜山、濟州島6泊7日のクルーズに参加しました。13万トン級の大型外国客船が日本に初入港する。歴史的瞬間に出会え、感激しました。ビックスケールの船内設備(3階吹き抜けのプロムナード、アイススケートショー、プール等)又、ブッフェやフルコースディナー、エンターテインメントショー、カジノなどの船内生活も思う存分満喫しました。

クルーズの魅力は何と言ってもホテルが移動するように、翌朝には次の寄港地に着き、体に負担がかからない事と、大海原に吹き抜ける初夏の潮風と、太陽がストレスを発散し自然とリラックスさせてくれる事です。私が素晴らしいと思うことは、ゆっくりとした時間の中で旅で出会った人と話す……。一期一会を大切にして、互いに職業、趣味、年齢は違いますが歩んできた人生に共感し感銘を受け感動します。

人、自然、地球と対話する！クルーズって最高！！

日々仕事に追われる毎日ですが、たまには気分を変えて旅する。何かを発見して明日も頑張るぞ！と決意出来る良い機会であると思います。今、船のLCC化が進み手頃なクルーズ代金で来年も沢山の外国船が大阪、神戸にやって来ます。ご夫婦、ご家族、ご友人とチャレンジしてみたいかでしょうか？さあ！！あなたもでかけてみませんか？クルーズへ



次は、寺田委員長宜しくお願いします。

「卒業！」

5月31日(金)の青年部総会にて、藤田鉄工株式会社 藤田常務、有限会社ニシクボ製作所 湯川専務が青年部会を卒業されました。

御二方、今まで青年部を盛り上げて頂き、ありがとうございました。



青年部を卒業された 湯川三利氏、藤田英輝氏

青年部会長 藤井雅啓

## 「教育認定事業委員会」

みなさんは、仕事ができる・できないというのは一体なんだろうと考えたことはありませんか？もちろん本人のやる気の有る無し・頭の良し悪し等は、重要な要因ではあるけれども、単純にそれだけではないような気がする。

実はこれ、経営学の世界でもまじめに議論されているテーマです。例えば、大企業においては新入社員を同じ時期に、同じ位のレベルの学校から、一定数採用する。現在の厳しい就職戦線をくぐりぬけた人達であるなら、当然高いモチベーションも有している。なのになぜ数年経つと、月とスッポンくらいの差がついてしまうのか？ いや～わからんといったところですが、先日たまたまいいモノを見つけました。以下のとおりです。

### 仕事ができる人の共通点

- ・不思議と丈夫で病気をしない
- ・細かいことにも責任を持つ
- ・すぐにアクションを起こす
- ・地に足をつけて物事を考えられる
- ・ものごとを標準化できる(思考にぶれが少ない)
- ・うそをつかない
- ・問題点を明確に説明する習慣がある
- ・感情と問題点を分離できる
- ・直前まで改良する、ベストを尽くす
- ・継続することができる
- ・自分に対する勝ち癖がある
- ・相手の立場で単純化して物事が説明できる
- ・いざという時にスピード感ある仕事ができる
- ・見かけの嫌なことに立ち向かい、その解決自体を楽しむ
- ・困難なことも習慣化することでクリアする
- ・責任転嫁をしない
- ・折り目の正しさ、清潔感がある
- ・先入観に判断を左右されない柔軟性がある
- ・限られた情報で決めることができ、決めたことを実行する
- ・うまく行かないときにも飄々(ひょうひょう)と次の方法をトライする

どうですか？まさにその通りだとおもいませんか？  
また、読んでみて自分自身も反省するところが多々あり・・・ なんとか仕事がデキル人になりたいものです  
ね。

なお、第1回委員会を6月25日に開催致しました。  
今期事業につきましてもご協力・ご参加のほどよろしく  
お願い申し上げます。

教育認定委員長 藤田英輝

## 「共済・経営近代化委員会」

皆様のお蔭をもちまして、3月28日開催の経営近代化のセミナーを22社の組合員に、ご参加頂き、無事に開催する事が出来ました。ご協力有難うございました。今後も組合員及び賛助会員共に参加して頂けるセミナー・講習会を開催する予定でございますので、皆様のご参加を宜しく申し上げます。

さて、当委員会は、前回のならてつニュースからは、委員会を開催しておりませんでしたが今年度は、節電やエコ関係で共済事業及びセミナーを開催して参りたいと思っております。

そして、現在近畿支部でも議論しております鉄骨業界の地位向上及び適正な加工単価の維持についても経営近代化事業として委員会で議論して参ります。

最後に組合員と賛助会員の双方が参加しやすく また、意見交換のできる事業を当委員会で行って参りますので、皆様のご協力の程、宜しくお願い致します。

### 第1回委員会

開催予定日時： 2013年7月16日 19:00~

開催会場：ろばた郷土料理家 Shiba (シバ)にて開催予定 奈良市大宮町6-9-4 (駐車場有) 近鉄新大宮駅から南へ徒歩1分

次回の委員会に皆様のご参加お待ちしております!!

共済・経営近代化委員長 寺田信弘

## 「青年部コーナー」

毎年恒例となっております「奈良県技能フェスティバル」に、今年も参加させていただきます。昨年までは各鉄工所で作成した作品を持ち寄り、販売しておりました。今年は少し方向性を変え、「お越し頂いた方々に鉄骨と触れ合って頂く」ことを目的にしようと考えております。100V程度の小型半自動溶接機を使用し、ガーデニングのオーナメントを作って頂く予定です。大勢の方に手軽に体験頂き、少しでも鉄骨に興味を持って頂けるよう、青年部一同尽力致します！

その他、夏にはポリテクセンター奈良で開催されます橿原市主催の、「親子ものづくり体験」に参加させていただきます。実際に溶接を体験して頂き、お子様にも親御様にも鉄骨を身近に感じて頂ければと思っております。

また、秋には奈良県建築士会様との合同見学会も計画しております。建築士会の皆様に鉄骨をより詳しく知って頂くのみならず、我々も勉強させて頂ける貴重な体験だと思っております。

様々なイベントに参加させて頂き、たくさんの方のことを学び、向上して参ります。

青年部総会を、5月31日(金)に行いました。全ての議案の承認を頂き、皆様のご協力により無事終えることが出来ました。

青年部会会長 藤井雅啓



青年部総会の様子（花惣 八木店にて）

## 第41通常総会開催！

去る5月25日（土）、橿原ロイヤルホテル2階明日香の間にて奈良県鉄構建設協同組合の第41回通常総会が開催されました。

開会に先立ち、針田理事長より「平成24年度で新体制のもと業界の地位向上のため、新たな事業展開の第一歩を押し進めてきました。本年度も各事業の継続的発展をしていきたい」との方針を発表されました。総会では内藤副理事長が議長とつとめ、全ての議事について滞りなく承認されました。

総会後は会場を藤原の間に移して、賛助会員も交えての懇親会が催されました。中川相談役からも挨拶を頂き、今住理事の乾杯後、すばらしい料理に舌鼓を打っていました。今年はいつもの座敷で膝をつき合わせるというスタイルではなく、洋宴会場でビュッフェスタイルのため、参加された方々は活発にたくさんの方との交流が深められたと思います。

中締めは藤井社長にして頂き、元気な鉄構業界を作っていく誓いあえた一日となりました。

専務 中原一晃



総会の様子（橿原ロイヤルホテルにて）

## 「奈良支部」

私は、今は奈良市内に住んでいますが、もとは高市郡高取町で生れ育ちました。高取町と言えば薬が有名ですが、もう一つ日本一の山城高取城があります。歴史は古く約670年ほど前、南北朝時代に豪族の越智一族が標高583mの高取山に砦のような城を築いたのが初めと言われてます。その後1585年に豊臣秀長が重臣 本多氏が城主となり天守閣・石塁など本格的な築城が進められ郡山城の詰城として計画されたらしいです。

1640年には、幕府大番頭の植村家政が藩主となり、以後14代228年植村家がおさめたらしいです。世が泰平になるにつれ山上の生活が不便になり城下町に下屋敷・藩主の居住政庁がつくられ天正期以後の整備拡張により高取城は芙蓉城とも言われ「巽高取雪かと思れば、雪でござらぬ土佐の城」と歌われました。最近では町おこしで城下町にもいろいろできていますし、3月・5月には、ひな人形などを道すじの家でおとずれる方達が自由に見れるように展示をしています。11月には城祭りもおこなわれます。興味があるかたは、一度おとずれてみて下さい。

副支部長 湯川三利



高取城（連立式天守）



高取城（全景）

## 技能フェスティバルへの参加決定！

平成25年度第1回理事会にて、今年も毎年恒例になりつつある技能フェスティバルへの参加が可決されました。詳細については次回理事会にて協議することとなります。まだ、日程も決まっていませんが、毎年、青年部さんが大きな尽力をつくして、奈良県鉄構建設協同組合の活動をアピールされています。会員のみなさまも、ぜひ参加して頂きたいと思います。



第1回理事会の様子（組合会館会議室にて）

## こんなん知ってました？ VOL.1

JASS6 2007版

JASS6が2007年に改訂されて6年が経ちますが、こんな記載を見つけてしまいました。亜鉛メッキの仕口など、開先加工して、メッキ返却後に溶接する場合に、不めっき処理をする範囲が、明確に記載されています。しかも、合否判定基準の表で「あってはならない」との記載があるので、記載の範囲にあればその製品は不合格！作り直し！と言われても文句は言えないんでしょうね。皆さん気をつけてください。

JASS6 12節 溶融亜鉛メッキ工法

表 12.2 検査項目と合否判定基準（P 62）

表 12.2 検査項目と合否判定基準			
項	目	検査対象	合 否 判 定 基 準
外観検査	不めっき	全部材	直径2mmを超えるものがあってはならない
	きず・かすび		有害なものがあってはならない
	摩擦面のたれ		あってはならない
	開先面のめっき付着		開先面およびそれらに隣接する100mm以内の範囲にあってはならない
	割れ		あってはならない

ご意見、お問い合わせ

奈良県鉄構建設業協同組合

〒634-0008 奈良県橿原市十市町 1037

Tel 0744-25-7519(代)

Fax 0744-25-7493

E-mail nara.sfa@kcn.jp